

2026年 電波伝搬実験 概要

de JA1RIZ

今年の移動局は、1及びφエリアから8ポイント(コントロール局除く)の地域からの参加でした。

参加局は固定からのワッチ局を含め、12局でした。

前日から Es が発生していて、本実験が始まった頃から実験終了まで混信気味であった。しかし大きな混乱もなく整然と運用できたと思います。また、各地とも晴れで恵まれた天候でした。

参加された各局には、たいへんお疲れ様でした。

(1) 各局の位置関係

移動の各局の位置関係は、資料「②-2 2026 年電波伝搬実験交信結果表 の位置関係・エリア図」の通りです。

最北端に位置した局は、JJ1SXA/1 局で、最南端・最東端は、JK1JWV/1であり、最西端は JR2CTR/φ局が位置していました。

東西に約217km、南北に約164kmのエリアの中に各局が展開していました。

(2) 最長交信距離

最長距離は、両局ともモービルアンテナ設備の交信として、JR2CTR/Φ(長野県・御嶽スカイライン) ⇔ 7L2WVR/1(栃木県・勝雲山駐車場)でした。共にRS(55/51)で交信成立しました。

伝搬距離は 195.75Kmでした。単純計算の見通し距離 $=4.12(\sqrt{2087} + \sqrt{1287}) = 336.0\text{km}$ で遮へい物がなければ見通しですが、途中の山岳遮蔽によって、かなりの減衰があったと思われます。また、送受のレベル差は検討の余地があると思われます。

2番目は、JK1JWV/1(千葉県・内港公園駐車場) ⇔ 7L2WVR/1(栃木県・勝雲山駐車場) 141.61kmでした。計算上の見通し距離 $=4.12(\sqrt{1} + \sqrt{1287}) = 151.9\text{km}$ なので、見通しスレスレでしたが、RS(52/56)で交信成立しています。

そして、ビッグ3 は、JK1GBE/1(長野県・メルヘン街道最高地点付近) ⇔ 7L2WVR/1(栃木県・勝雲山駐車場) で 120.49km でした。

なお、今回の最長離隔距離であった、JJ1SXA/1(栃木県・八方ヶ原) ⇔ JR2CTR/Φ(長野県・御嶽スカイライン)の距離は 236.5km でしたが残念ながら交信に至りませんでした。

(3)最多ポイント交信

今回の最多ポイント交信数は、6ポイント:7L2WVR/1、4ポイント:JA1WOB/1 の各局で、苦戦を強いられた諸氏が多かったのではないのでしょうか。

WVR 局はあと1局できると、全局カバー だったですね。

(4) その他

- ① 実験タイムは、早朝の「予備実験」と「本番」でしたが、今回は予備実験中のデータにも留意して報告がなされたと思います。ただ、時間の変化による受信状態の変化ほとんど見られなかったように感じました。
- ② 資料「③-1 ～2 各局との距離表」を添付していますので、各局との相互関係を確認してみてください。
- ③ 一部の緯度経度のデータに誤りが見られました。

緯度経度から地図を表示するには、Google マップなら検索欄に「35.681236,139.767125」のように「緯度,経度」を入力して検索、国土地理院「地理院地図」なら検索ボックスに同様の形式で入力すると、その地点が地図上に表示されます。(入力は、度分秒単位でも10進法単位、どちらも OK の様です。)

マップや GPS から緯度経度情報を得たあと、このように検証作業として「逆変換」してみると確実なデータの比較が可能になります。

固定局からのレポートも2局からありました。移動局の電波は固定局に対してどこまで飛んでいるのか、又、自局の受信エリアの確認のために役立つのではないのでしょうか。

最後に、移動の各局及びその他参加してレポート送付頂きました各局、メインコントロール局、連絡援助していただいた局、そして、遠地への移動していただいた局など、ご協力頂いた各局各位、大変お疲れ様でした。

ご意見・ご提言 等々などありましたら、また、技術講習会のなかでも熱く語っていただければ幸いです。

(実験結果は、別紙ご参照下さい。) 2026/JUN/30

以 上